

広土会にもっと強い絆を



広土会会長

福原 輝幸

広土会会員の皆様、初めまして。十河前会長の後を受け新しく広土会会長を仰せつかりました福原輝幸です。私はカープの優勝に会わせただけのように昨年9月、母校広島工業大学工学部環境土木工学科に着任しました。私はカープが初優勝した年度（1975年）に卒業した7期生です。卒業後は土木工学科の創始者、櫻井季男教授の最後の助手として2年間、広島工業大学でお世話になりました。この度、実に39年ぶりの職場復帰となりました。未だ学科および学生の様子がよく分かっていないことおよび、最初は新会長が一体どんな人物かを皆様に知ってもらうことが良いと思い、本誌では自己紹介と広土会への想いを書かせてもらいます。

私のキャリアは櫻井先生との出会いから始まりました。最初の衝撃は2年生の時でした。櫻井先生から突然、「博士課程のある大学院に行きなさい」と言われました。当時、博士課程は旧帝大にしかなかったので、自分には論外として気にも留めませんでした。続く驚きは助手になった時でした。先生は「君のやるべき事は出席を取ることと、大学院の受験勉強だ。」と言われただけでした。これ以上ない大学院進学環境を整えて頂いた櫻井先生の男気は、黒田博樹氏以上のビッグなものでした。もう一つの決定的な幸運は4年生の春に着任された中山先生との出会いでした。先生の公私に亘るご指導が母校復帰の契機になったと思います。さらに素晴らしい先輩との出会いもありました。当時の土木工学科には先輩の助手が数名おられ、研究室を訪れるとよく自身の将来や大学院

進学の意義について熱く語って頂きました。先輩の助言も私の進学を後押ししました。大学院への初挑戦は助手1年目の9月でした。中山先生が大阪大学（阪大）出身だったことから阪大を受験しました。結果は悲惨なものでした。落ちたことよりも見たことない問題だらけで、広工大とは全く違う世界（大学）があることにショックを受けました。それから半年後に広島大学（広大）を受験しました。専門科目はバッチリできたので合格したと思ったのですが、あることで落とされました。予想外の結果に血の気が引いて目の前が真っ白になりました。次の年、阪大に再度、最後の挑戦をしました。1回目の受験後、何処から問題が出たかを調べ上げました。問題を見つけた時は一歩合格に近づいたと思い、嬉しかったです。もし阪大のラストチャンス逃していたらどんな人生を歩んでいたのだろうか？今でも想像します。もし広大に合格していたら、そこで満足して博士の学位取得はなかったかもしれません。私が助手の2年間で学んだことは、“失敗は次の成功へのステップ”と“試験は人生を変える”でした。以来、“自分次第で自分の人生は変えられる！”と学生に説いています。

阪大では恩師、室田明先生の門下生になれたことが今でも最高の誇りです。室田先生からは研究、教育、人間力について学ばせて頂き、1983年に博士号を授かりました。

1984年から福井大学に移り、鳥海勲先生の下で研究を始めました。私のわがままを容認して頂いた鳥海先生の懐の深さとアドバイスのおかげで、自由に研究ができました。JIM BEAMを愛したグレートボスでした。研究テーマも180度変えました。代表的なプロジェクトはアラブ首長国連邦での砂漠緑化と節水灌漑、バングラデシュでの太陽熱淡水化（進行中のJICAプロジェ

クト）、冬期道路の滑り予測、地中熱によるロードヒーティング、農業用ハウスの環境予測、土壌の塩害対策などで、殆どが外国および県外で行いました。なお余談ですが、今冬の大雪は“広島でも雪の仕事をせよ”との天からのメッセージと、勝手に解釈しています。

私が広島工業大学に帰って来られたのは次の3つのおかげ；良い恩師に巡り会えたこと、良い学生に巡り会えたこと、良い友達に巡り会えたこと、と思っています。ですから、この巻頭言は私の最高の宝物である7期の同輩、先輩、後輩がいなければ書けません。同窓生の力は偉大です。広土会メンバーのおかげで仕事および私的な面で助けられたという同窓生は数多くいるのではないのでしょうか？少なくとも私はその一人です。だからこそ後輩である在学生にも、同窓会がいかに関わりかけ替えないものになるかを伝えていく必要があります。広島工業大学の在校生は今後、職場で必要とされ国や地域の発展に貢献する使命があります。これは先輩なら誰もが後輩に願うことでしょう。広土会はこの願いを実現させる力を持っています。その具体的な行動は別の機会に述べることにしますが、学科（教員）と広土会の連携を密にし、学科はより社会に目を向けた教育・研究を目指し、広土会はその支援することが根幹です。学科と同窓会の協働が改組した環境土木工学科に求められています。事実、絆の強い同窓会を持つ私立大学は着実に躍進しています。

今後、広土会が卒業生だけでなく在校生にも欠くべからざる存在になれば、それが広島工業大学の特色となり大学発展の要になるはずです。そのために広土会会員の皆様、もっと力を貸して下さい。可愛い後輩のために、そして皆様各位のために。

退任挨拶



広土会の発展に期待

環境土木工学科

教授 十河 茂幸

平成23年4月に都市デザイン工学科教授として就任し、6年が経過しました。平成25年4月から広土会の会長に就任し、今期の退職を機に会長職も退任することになりました。大した仕事もできないまま退任することが心残りですが、広土会の今後の発展に期待しています。

東日本大震災が起きた年に、37年間務めた大林組技術研究所を離れ、広島工業大学に転籍したことで、この6年間は記憶から離れることはありません。着任後も広島で生じた土砂災害や、熊本で生じた地震など、災害が後を絶たない昨今ですが、そのようななか、安全・安心・快適な社会を構築する仕事に従事する学生を6年間も指導できたことは、大きな誇りです。

就任直後は、土木人氣が低迷して学生数が激減したことで学科名が都市デザイン工学科に変更された後でした。3、4年生の学生数が少なく、学科の存続を心配されていた時期でした。その後、都市デザイン工学科に改名され、その効果か否かは定かではありませんが学生数は回復を見せました。しかしその結果、進路を迷う学生は少なくありませんでした。土木の名前の復活を期する卒業生も多く、ようやく平成28年4月に環境土木工学科に改名され、学生数は定員をはるかに超えることになり、今日を迎えています。

平成24年4月から2年間は学科主任を務めました。大学の会議の多いのには閉口しましたが、学生達の活躍を支える大学のサポート体制には敬意を表しています。また、ここ3年間は就職委員を務め、学生の就職活動を支援しました。建設業界の好景気にも支えられ、かなり多くの学生の希望を叶えることができたと思います。将来大きな仕事をして記憶に残るインフラの構築をされることを祈念しています。

専門分野はコンクリートに関わる技術分野であることから、コンクリート工学、鉄筋コンクリート工学、メンテナンス工学などの講義をしました。建設工学実験ではコンクリートの実験などを通じて、現場で戸惑わないための指導をしました。講義を通して学生と共に過ごした時間は、実務に長く従事してきた私にとっても刺激的でした。卒業後に活躍されている姿を見たいものです。

最後に、退職後については、専門のコンクリート分野で今後課題とされているコンクリート構造物のメンテナンスに関する仕事を支援する予定です。我が国で構築された多くのインフラは延命化が必要であり、今後建設される構造物は長寿命化が必要です。これまでに築いた技術を活用する所存です。今後ともよろしくお願いいたします。 以上

卒業生寄稿



近況報告

広島支部23期生

西井 正孝

私は、平成3年3月に卒業した23期の西井正孝と申します。

卒業後は、広島市役所に入庁し、早いもので、今年度で26年目となりました。

市役所に入り最初に配属となったのは、下水道局でした。当時は広島市の下水道整備は全盛期で大変忙しい職場でしたが、広土会の先輩も多くおられ、先輩方に御指導いただきながら、工事の設計積算や現場監督の業務を進めることができました。下水道局では、下水道施設の維持管理などの業務も担当し、13年間、業務に携わりました。

その後、道路交通局に異動となりました。同じ土木部門なのですが、新しい分野での仕事となりました。道路事業の知識が少ない私でしたので、ここでも広土会の先輩方に教えていただくことが多く、あらためて広土会の繋がりを感じ、大切にしていかなければならないと思いました。

また、この時期には広島県警交通部に派遣され、道路整備に伴う意見照会の業務に携わることがありました。ここでは、道路を整備する側ではなく、交通管理者の側から見ることを経験し、物事を進めるにあたり1つの方向からだけではなく、いろいろな角度から物事を見て議論し、最善の答えを導き出すことが必要であることを感じることができました。市役所とは違う組織に所属し仕事することは、時に大変なこともありましたが、周りの方々の助けもあり、無事、任期を勤めることができました。このときお世話になった方々とは、現在も仕事の相談をしたり、懇親会をしたりと連絡を取り合っています。とても貴重な経験となりました。

昨年度からは、環境局施設部に移動となり、広島市の新たなごみ埋立地の整備に携わっています。ごみ埋立地は、市民の生活のために必要な施設であり、責任感をもって業務を進めることが必要となります。これまでの経験を活かし、事業の推進に貢献できるよう日々努力していきたいと考えております。

ふと、気がつくと、すでに自分が入庁したときの先輩方の歳を越えてしました。これからも、自分がしてもらったように後輩への助言を心がけ、広土会の繋がりを大切にしていきたいと考えております。

最後になりましたが、広土会の益々の発展と皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



近況報告

広島西支部長12期生

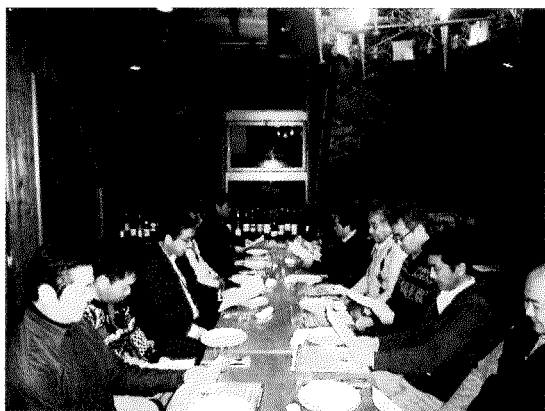
長谷山 弘志

こんには、平成26年度より広島西支部の支部長を務めさせていただいている12期生の長谷山です。平成13年に発足した広島西支部も、今年で16年目を迎えます。宮田初代支部長(4期)そして原田前支部長(9期)に続き、私で3代目の支部長となります。これまで諸先輩方が積み上げて来られた功績を礎にさせて頂きながら、来る広土会50周年に向けて、次世代に良い状態で引き継いで頂けるよう努力して参りたいと考えておりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

平成13年に廿日市市に佐伯町と吉和村が合併したのを皮切りに、宮島町、大野町も合併し、当支部の会員は、現在の廿日市市と大竹市に在住又は勤務の当該学科卒業生が対象となっており、総数200名超と推定されます。住所や職場の変更や退職後の状況など把握できていない方も少なからず居られると思われます。知り合いの方などの近況情報を広土会事務局へお寄せ頂けると幸いです。現在の支部役員は、副支部長2名、幹事長1名、幹事14名、事務局長1名、会計監査1名、計20名で構成されています。

支部の行事は、かつては、釣りやゴルフなどの会員活動を活発に行っていた時期もありましたが、景気の後退に伴い、活動も自粛ムードとなり、年に1度の総会が定番となり、何かあれば役員会を開催するという状況です。

平成28年2月27日に「ビツェリア カナダ館」廿日市店で開催した支部総会には、大学からは村中先生そして前支部長にもご出席いただき、総勢16名の参加がありました。総会に引き続き、懇親会も開催し、この会では珍しく、ピッツアやパスタなどお洒落な料理にビール、ワインで大いに盛り上がりしました。中には、いつものように「焼酎はありますか」と尋ねて、かわいらしい店員さんに、「当店にはございません」ときっぱりと言われたメンバーも居たりと、笑いの絶えないすばらしい集まりでした。



今年は、当西支部が島根県支部から受け継いで、広土会支部長会議の担当幹事となっています。支部総会と合わせて、例年どおり9月に開催できればと思っておりますので、みなさまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



株式会社 神 崎 組

取締役社長 神 崎 文 吾

本 社 姫路市北条口三丁目22番地
T E L 姫路(079)223-2021(代表)
F A X 姫路(079)281-8191
支 店 大阪
事業所 敦賀・三木・岩国

心の映像カタチにします
建設クリエイター

総合建設業



株式会社 栗本

代表取締役社長 前川 拓也
〒733-0035
広島市西区南観音7丁目14番20号
TEL (082) 293-8500
FAX (082) 295-8231
【営業所】 岩国
<http://www.kurimoto-gr.co.jp>



株式会社 鴻治組

〒736-0082
広島市安芸区船越南一丁目2番6号
TEL : (082) 822-5211
FAX : (082) 824-0675

最後になりましたが、母校のますますの発展と同窓生の皆様のご健勝・ご活躍をお祈り申し上げ、近況報告とさせていただきます。



近況報告

関西支部 5 期生

福馬 博文

私は、昭和 48 年 3 月卒業の福馬です。

卒業後、大阪に本社がある橋梁・鋼管・鉄鋼プラントメーカーの丸誠重工業（株）に入社し平成 13 年 10 月迄橋梁専門に設計から検査、製造（工務）3 部門に携わって来ました。

内訳は設計 12 年、検査 2 年、製造 14 年です。最初の設計時代は現在の様に電子計算機、CAD と言ったハイテクな機器は無く、断面計算、材料計算は電卓を使用し詳細図は製図板で T 定規を使用し 1 枚完成するのに多くの時間を費やした事が懐かしく思い出されます。学生時代、橋梁について学んだつもりですが、現実と直面すると知らない事が多く先輩や上司の指導を受けて日々成長していく事が出来ました。

製造部では工程管理、材料調達、工場製作での主任技術者、現場代理人として客先との打合せ等の業務に携わりました。特に印象に残っているのは関空のゼネコンの下請け工事で鋼製橋脚の製作です。約 1200t/ 基の脚を工場ヤード内での地組立、建て起こし作業時に F O クレーンを使用し一括吊上げにて現地迄の海上輸送でした。当時はバブル時期で大型プロジェクトの公共工事が多くあり活気に満ちていました。しかし 1990 年代後半から 2000 年代前半にかけてのバブル崩壊により日本全体の景気悪化し当社の業績も悪化？し 2001 年（平成 13 年）10 月に突然の破産宣告を告げられました。当時、私は橋梁課の課長職であった為、取引先及び下請け業者からの多数の問合せが有り困惑したのを覚えています。

翌日から 12 月末迄、管財人の元で工場内の仕掛け品の整理、客先立会いの対応に追われる日々でした。入社以来 28 年経ってこの状況に陥るとは全く予想外の出来事でした。

この騒動も一段落し、自分の仕事探しに全力を傾けた結果、近江産業（株）に採用されました。当社は金属加工の専門会社で新規に構造物の製作を開始するという事で私が採用された様です。

平成 14 年 2 月より勤務し、焼却炉やプラント物が多く最初は戸惑いましたが今迄の経験を生かして乗り切りました。図面展開、材料調達、工程・品質管理の業務を担い、直近 6 年間は（株）横河ブリッジの下請けとして合成床版の製作に携わり、平成 28 年 3 月末をもって無事定年退職しました。

定年後は生活リズムがくるっていましたが、最近やっと落ち着いて来ました。地域のボランティア活動にも積極的に参加し出来るだけ体を動かし、1 万歩 / 日を目標にして頑張りたいと思います。

話は変わりますが、平成 28 年 9 月 25 日（日）に大阪市内にて、関西支部総会及び懇親会を大学から村中先生をお迎えして盛大に開催されました。その中で特筆すべき事項として

（1） 広土会 50 周年記念式典の開催の為、前準備として広島支部が中心となり平成 29 年に準備会を立ち上げ、詳細を決定し翌年に開催予定です。

（2）「都市デザイン工学科」から「環境土木工学科」に今年 4 月から改称されました。

（3）「環境土木工学科」の教授として、10 月より福原教授が着任されます。（広工大土木 7 期生）

懇親会では、各々の出席者から自己紹介、現状報告等があり普段会う事のない広土会員の皆様とお話し出来る貴重な場で有り、有意義な時間を過ごさせていただきました。

尚、関西支部毎年恒例の行事として、花見を 4 月第一日曜日に阪急夙川にて、午前 11 時より開催していますので、会員の皆さん一人でも多くのご参加をお願いします。

最後になりましたが、広土会の益々の発展と皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。



支部総会



近況報告

島根支部 28 期生

上山 全広

全国の広土会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。私は島根県支部で事務局長をしております第 28 期（平成 8 年 3 月卒業）の上山といいます。広工大を卒業して早いもので 21 年が経ちました。大学時代は学校近くの格安の下宿に住みながら学校に通っており、学校でのこと、友人と遊んだこと、バイトしたことなどがつい最近のことのように思い出されます。

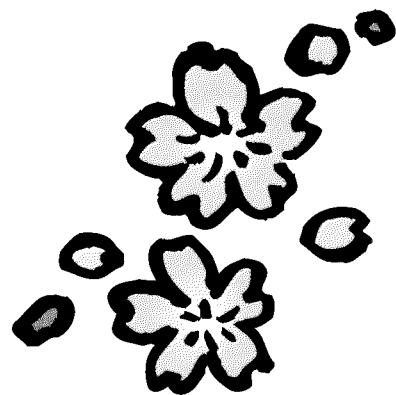
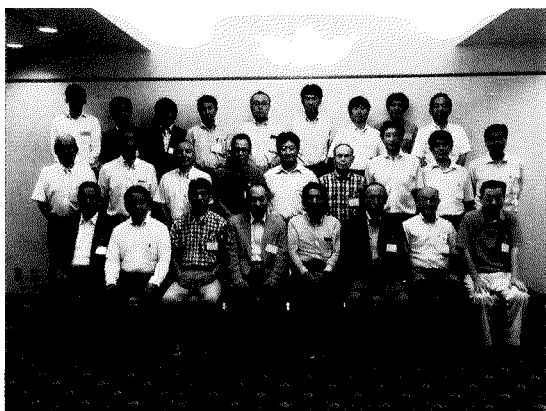
私は大学を卒業して島根県に就職し、現在まで土木事務所や水産事務所、県庁などに勤務して多くの公共施設建設

に携わりました。現場毎に特有な条件があり、難しい技術的判断を求められることが多々ありますが、最近特に感じるのは人間関係の重要性です。工事施工に際しては施工業者はもちろんですが設計コンサル、地権者、地元関係者などなど多くの人と関わりを持ちながら工事を進める必要があります。そうした中で広大の先輩方とのつながりは非常に心強く、頼りになります。私も数年前までは同窓会に参加するのを面倒と感じており、なるべく支部会には参加しないようにしていました。しかし偶々同じ職場になった先輩に半ば強引に参加させられたのを切っ掛けに、その後は出来るだけ会に参加するようになり、一昨年から事務局長を仰せ付かることになりました。現在は支部を盛り上げる立場になりましたので、今後もこのつながりを大切にしながら仕事に活かせたらと思います。

さて、去年は当県で支部長会を開催させて頂きました。各県から 8 名の支部長様、大学から 3 名の先生方、島根県支部から 15 名の方に参加して頂き、盛大に会を執り行うことが出来ました。先生からは大学の近況報告を頂き、“社会に出てから使える生徒を育てる”のが広工大の方針。入学の偏差値では負けているけど（泣）、卒業するときは某国立大学にも負けていない！という心強い話がありました。私も後輩達の見本となるよう日々精進なくてはと思います（汗）。

松江には国宝に指定されている松江城や宍道湖、観光で全国的にも話題となっている玉造温泉などがあります。とても良いところですので機会がありましたら観光に来ていただけたらと思います。

最後になりますが、広島工業大学の発展と広土会員皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。





山陽工業株式会社
SANYO CONSTRUCTION CO. LTD.

広島市中区十日市町 1 丁目 1-9 〒730-0805
TEL(082)-232-6471 FAX(082)291-2233
<http://www.landingsanyo.co.jp/>

夢から感動へーハートテクノロジー



東洋建設

本 社 〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-24
TEL 03-6361-5450
中国支店 〒732-0052 広島市東区光町 2-6-24
TEL 082-205-5050



総合建設コンサルタント
株式会社 **ヒロッコ**

代表取締役社長 **下 花 眞 二**

本社 〒734-0011
広島市南区宇品海岸三丁目13番28号
TEL(082)250-8515(代表)



近況報告

県東部支部 48 期生

安井 紘平

私は、平成 28 年卒業の安井と申します。

広島県尾道市に本社をもつ、株式会社青木組に勤務しております。

会社は主に海洋土木を中心とした浚渫や岸壁などの業種を得意とし、関東に東京本店を有しております。

入社後約 1 月の本社研修を経て、小さな工事にいくつか参加させていただき、つい先日、初めて正式に現場への配属を受けました。いまだにわからないことだらけで、日々勉強の連続です。繰り返し指導を受け、低レベルなミスに、

自分の理想と現実の違いに気付き失望させられている次第です。

上司や先輩の方々に様々なことを教えていただいておりますが、任された仕事とうまくいくことは少なく、訂正や指摘を受けることのほうが多い状態です。自分ではできたと考えていても、やり方が間違えていたり、記入ミスがあったりして、書類一枚でも気を抜くことができません。

そんなできないことの多い毎日ですが、小さな事でできるようになったときは達成感を感じることができます。自分の関わっているものが段々と完成に近づいていくところを間近で感じることができるのは、なんともうれしいものです。

そんな私も、来年には 2 級土木施工管理技士の資格を受けることになりそうです。まずはその 2 級土木施工管

理技士の取得を目指して、現場で多くの経験を積みたいと思っています。

先輩や上司の方々が、わからないことがあったり困っていたりしたら、親切に教えてくださるので、大変心強く感じています。

広島工業大学を卒業し、入社してあっという間に月日が過ぎてしまいましたが、日々の勉強を怠らず、早く現場の戦力の一員となれるよう、施工計画書をしっかり理解し、にらめっこをしながら、前向きに努力を積み重ねていきたいと思います。

終わりにになりましたが、広土会の繁栄と広土会員の皆様のご健勝・ご活躍を心からお祈り申し上げます。

事務局だより

広土会の活動は会員の会費納入で運営されています。同封の広土会会費の納入と連絡先確認のお願い用紙の会費納入の右欄の○年3月の○が空白、会費未納あるいは期限切れの方はこの点を御理解いただき、会費の納入をお願い致します。終身年3月の方は会費の納入の必要はありません。

広土会のホームページのアドレスは下記のとおりです。土木系学科50周年記念事業等を閲覧するには、パスワードが必要となっております。パスワードは下記のとおりです。入力間違いないようにお願いいたします。

また、広土会新聞は会員の情報誌です。今年度は、9期生ー40周年、19期生ー30周年、29期生ー20周年、39期生ー10周年を迎えます。記念祝賀会等を行われる場合には事務局にご連絡をいただければご協力いたします。

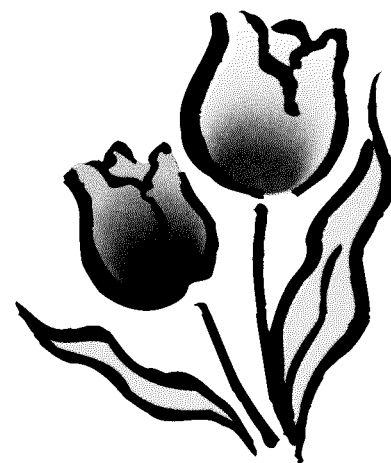
皆様からの情報、ご意見、ご感想をお待ちしております。FAX、またはメールでご連絡下さい。広土会新聞に投稿記事があれば併せてお願いいたします。

***事務局には専属の事務員がいません。恐れ入りますがご連絡等はFAXかメールにてお願いいたします。**

HPアドレス：<http://www.kodokai1968.jp/>

パスワード：kodokai2014

FAX (082) 921-8976 E-mail: kodokai@cc.it-hiroshima.ac.jp



大地と大地に明日を築く・・・

AOKI

総合建設業

Ⓐ 株式会社 青木組

本社 〒722-0035 広島県尾道市土堂二丁目八番十四号(青木ビル)
TEL(0848)23-3131 FAX(0848)22-8371
東京本店 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-4-2
KDX茅場町ビル
TEL(03)3665-9621 FAX(03)3665-9622
営業所 岡山・川崎・東北

総合建設業

占部建設工業株式会社

代表取締役 占部 誠

本社 〒720-0816 福山市地吹町18番16号
TEL(084)922-1254 FAX(084)922-1276
広島支店 〒738-0004 廿日市市桜尾二丁目8番3号
TEL(0829)32-1224 FAX(0829)32-8779
井原営業所 〒715-0022 井原市下出部町二丁目22番4号
TEL(0866)67-1300 FAX(0866)67-1215
広島営業所 〒731-5135 広島市佐伯区海老園4-4-44
TEL(082)921-2617 FAX(082)921-5443

KATO
Construction Co., Ltd.

Ⓛ 株式会社 加藤組

〒728-0013 広島県三次市十日市東一丁目8-13
TEL(0824)63-5117 FAX(0824)63-5100
<http://www.kato-gr.com>

洋ようと 伸びのびと 夢をかたちに



洋伸建設株式会社

代表取締役 金山 健二

本社 〒730-0012 広島市中区上八丁堀4-1 TEL(082)511-4520
アバンチュラビル7F FAX(082)511-4521
営業所 福山・呉・廿日市・山口・四国・九州
事業所 黒瀬
ホームページ <http://www.yoshin-const.co.jp/>

明るく伸びる



株式会社 伏光組

代表取締役 伏見 光 暁

本社 〒734-0013 広島市南区出島1丁目33番61号
TEL (082) 253-6161 FAX (082) 254-4581
(支店)松江 (営業所)三次

道路埋設指針

建設大臣認定擁壁

PCボックスカルバート ザ・ウォール (H=5.0m)



株式会社 マシノ

本社 〒733-0822 広島市西区庚午中1-19-23 (082) 507-2757 (代)
東広島営業所 〒730-2312 東広島市豊栄町別府270 (082) 432-4132 (代)
福山支店 〒720-0805 福山市御門町2-5-39 (084) 925-8855 (代)
山口支店 〒754-0005 山口県山口市小郡下郷1130 (083) 973-3533 (代)
山陰支店 〒695-0003 島根県江津市松川町下河戸188 (0855) 55-0124 (代)
本店 〒699-5133 島根県益田市神田町口615 (0856) 25-2380 (代)
工場 広島・江津・益田



ヒューマン・コンシャス。
それがわたしたちの原点です。

MASUOKA
Architectural Contractors Inc.



株式会社 増岡組

広島本店 〒730-0045 広島市中区鶴見町4番25号 TEL082-504-5050
呉本店 〒737-0051 呉市中央1丁目6番28号 TEL0823-21-1441
<http://www.masuoka-g.co.jp/>